

シルバー

松山

No.110 春季号



もくじ

- P2・P3 第4回 シルバーフェスティバル
- P4 理事会報告
- P5 女性会員の会だより / シルバーサロンだより
- P6 お仕事拝見
- P7 ぶらり松山散策
- P8 人事異動 / 編集後記



編集・発行

公益社団法人 松山市シルバー人材センター

所在地 松山市若草町8-3

TEL089-933-7373

FAX089-933-0131

<http://m-silver.sakura.ne.jp/>

e-mail : matuyamasc@sjc.ne.jp

第4回 シルバークフェスティバル開催

3月21日(火)、コロナ感染の沈静化に伴い、女性会員の主催の第4回シルバークフェスティバルが開催されました。

当日は、生憎の雨模様にもかかわらず、会員のほか多数の一般来場者でにぎわいました。



フェスティバルは2部構成で開催。第1部は松山市ハーモニープラザ3階多目的室1を会場に、会員の活動や発表が行われました。第2部は、会場を松山市総合福祉センター1階大会議室に移し、県立松山北高等学校OBの熟年吹奏楽団「北斗21」による「音楽の夕べ」が開催されました。

参加者をひきつけた
多彩な活動

第1部会場では、女性会員活動活性化委員会の福祉サービス班・生活サポート班・オフィスワーク班・パソコン班・生きがい就労班の5つの班が、活動の



成果を展示したほか、シルバークサロン清水町から押し絵・絵手紙・オカリナ・生け花・折り紙・陶芸の6教室と俳句・つまみ細工・リメイク倶楽部が参加。独自事業の手すき和紙工房・リメイク工房は商品を販売しました。他にも2名の個人会員が出展されました。

シルバークサロン清水町のオカリナ教室「こもれび」、会員でバンド活動をしている「キャデラック」が演奏し、会場の雰囲気盛り上げてくれました。

「音楽の夕べ」との2部構成だったこともあり、第1部会場の開催時間は2時間。会場も手狭で、参加した方々からは「もっとゆっくり会員の活動を見たかった」との声もありました。

女性会員の会活動の

継続を確認

10年前、女性会員の増大と女性の就労率拡大をめざし女性会員活動活性化委員会が発足、女性会員の交流と研鑽を図るため、福祉サービス班、生活サポート班、文化伝承班、オフィスワーク班、パソコン班の5つの班活動を核として、女性会員の就業拡大に大きな成果を残しました。この度、その立役者であった職員が定年を迎えることから、次の世代の職員に発足当時の思いを継承してもらうため、女性会員の会のシンボルカラー赤のスクarfを手渡して、さらなる支援を託しました。

楽しかった「音楽の夕べ」

第2部は会場を松山市総合福祉センターに移し、「北斗21」による「音楽の夕べ」を開催。

「北斗21」は松山北高等学校の吹奏楽部出身者で構成する熟年



吹奏楽団で、定期公演のほか福祉施設での演奏会を開催しています。ほとんどが熟年層ですが、中には20代の団員も。

軽快なリズムの「ワシントン・ポスト」で始まり、「ザ・ピーナッツ」のメドレーや「月光仮面、怪傑ハリマオ」、加山雄三のメドレーのほか、懐かしの童謡などシルバ－世代に合わせた17曲の演奏曲で聴衆を魅了しました。軽やかなリズムと生演奏のたいご味は格別で、コロナ自粛で外出もままならず、どこか鬱屈

していた心身が静かに解き放たれていくような開放感を味わうことができました。

楽団には芸達者がそろっているようで、金の扇子を手を目の覚めるような水色の着流し姿で「おいでや小唄」を踊るパフォーマンスに、来場者から大きな拍手が送られました。

参加された方は会員が約6割で北高の同窓生やご近所など一般の方が4割ほどでしたが、シルバ－人材センターをPRするいい機会になりました。

投稿募集のお知らせ

事務局だより「知っというて!」で、会員さんからの投稿をご紹介しますでしたが、より多くの会員のみなさんに読んでいただきたいという思いから、会報「シルバ－松山」に新たな投稿欄を設ける予定です。

そこで、会員の皆さまの日ごろの思いや考えのほか、俳句や短歌、絵、写真などを募集いたします。掲載する際には、事前にご連絡をいたしますので、氏名、連絡先などを明記の上、左記へご応募ください。

連絡先／本部・企画課 会報編集委員会担当

☎089-9333-7373

新事業

ミシン縫製事業が
はじまりました



年齢・経験を問わず誰でも参加でき、楽しく仕事ができる新ジャンルの仕事「ミシン縫製」の事業をはじめました。

ご自身で働く時間や場所を選べるのが魅力です。

縫製の仕事経験者やミシンが好きな方、興味がある方がいらっしやいましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください。

連絡先／本部企画課・矢野

933-7373

北条支部・森

993-4539

【勤務場所・時間】

①シルバ－サロン清水町2階

② 営 9時～17時 ※時間要相談

(休)日曜

③ まつやまRe・再来館

④ 営 10時～17時 (休)火曜

⑤ シルバ－人材センター

北条支部

⑥ 営 8時30分～17時 (休)土・日曜



令和4年度 第9回理事会開催

令和5年3月23日(木)に松山市ハーモニープラザにおいて、第9回理事会を開催しました。

●議案審議

各議案の内容は次の通り。

■第1号議案「令和5年度事業計画(案)について」

令和5年度の定時総会(令和5年6月開催予定)に報告する令和5年度事業計画(案)を策定し、新年度の事業実施にあたることについて決議。

■第2号議案「令和5年度収支予算(案)について」

令和5年度の定時総会に報告する令和5年度収支予算(案)について、定款及び財務規程に基づき策定し、新年度の予算執

行にあたることについて決議。

■第3号議案「令和4年度収支補正予算(案)について」

「第2弾愛媛県医療・福祉版応援金」「松山市保育所等新型コロナウイルス感染症対策費補助金」の交付を受けること等について決議。

■第4号議案「運営資金の借入について」

松山市から借り入れた運営資金貸付金について、令和5年3月31日に返済するための資金として、短期借入金を申し込むことについて決議。

■第5号議案「諸規定の改正について」

(1)令和4年度第5回理事会で給与規程の改正を行った際の、時間外勤務手当及び休日勤務手当の1時間未満の端数処理を改正すること、(2)同一労働同一賃金の観点から不合理な待遇差を

解消するため、再雇用嘱託職員及び嘱託職員についても扶養手当・住居手当・管理職手当を支給することについて、それぞれ、給与規程・再雇用嘱託職員規程及び嘱託職員就業規程の一部改正を決議。

■第6号議案「役員を選任にかかるとの理事、監事候補者選考委員会委員の選任について」

前委員の任期満了に伴い、理事及び監事候補者選考要綱第3項により、委員を選任することについて決議。

■第7号議案「令和5年度定時総会の開催について」

定款第15条に基づき、令和5年度定時総会を開催することについて決議。

○日時

令和5年6月14日(水)

午前9時00分～

○場所

松山市民会館「中ホール」

●報告事項

定款第24条第5項に基づく執行状況報告、担当理事報告に続き、事務局報告として、理事長の入会承認を受けた会員数の報告、令和4年度1月末現在の実績及び令和4年度決算見込みについて報告。

2月末時点会員数2254名(前年同月比、113名増)

1月末現在の契約金額8億4千45万(前年同月比100.5%)



女性会員の会だより

第3回 女性会員活動活性化委員会

2月20日(月)、第3回女性会員活動活性化委員会(以下女性委員会とする)を開催しました。報告事項として女性会員の入退会状況および女性会員の就業状況について事務局より説明がありました。

一時期会員が減少傾向にありましたが、やや持ち直して現在2218人。そのうちの40%を女性会員が占めています。就業実数は受託分で令和5年1月の段階で女性が35%、男性が30%。派遣分では女性が36.4%、男性が41.9%となっています。これに関連して営業担当理事から「生活支援などで女性向けの求人が多数来ており、女性会員の増加が望まれる」との要望がありました。

高齢世帯や高齢一人暮らし世帯が増え、今後後期高齢人口が増えると予測される中、地域で生活するには生活支援が頼みです。そうは言っても女性会員の平均年齢は受託分で74.3歳、「お役に立ちたいけれど自分のことも心配」という面も。生涯現役と言っても安心して働き続けるには人手不足を補う人材という既成概念から、高齢者向けの仕事の発掘と提供が欠かせません。

本委員会の議題は開催が迫った第4回目のシルバーフェスティバルの全容についてで、当日の役割分担や進行について協議しました。

コロナ感染の状況緩和から、当初の入場者100名から200名に枠が広がったことから、新たな参加者募集も。

その後、これまで会員の高齢化や労働市場の変化などから女性委員会の班活動のあり方を巡ってさまざまな意見が出てい



▲ 1月13日生活サポート班の新年会

たことを受けて、その在り方について意見交換を行いました。女性会員の会としての活動には概ね好意的で、今年度の班活動は進められており、次年度以降をどう進めるか時間をかけて議論することになりました。

シルバーサロン清水町

お正月休館後、1月10日から業務を行い、陽気が良くなるに依い少しずつ利用が増えていきます。

オカリナの初心者用クラスが

中級クラスとに分かれ、全くの初心者が心おきなく参加できる形になりました。

また、折り紙クラブも従来の教室のほかに入門クラスができ、たくさんの参加者でにぎわっています。

男女ともに楽しめる麻雀クラブも週3回実施、つまみ細工のクラブも生徒が増えてきています。

また、シルバーサロンではこうした教室やクラブ活動を活用した「生きがい就労」の創出を進めており、22年度は5回、23年度からは毎月まつちかタウン・愛媛CATV DX-Silverのコーナーでワークショップの出前を進めることになりました。高齢者の出番がまた1つ増えます。

地域との交流と高齢者の得意を發揮する場としてスタートした「ミニミニフリーマーケット」も3月で第16回目を迎えます。ささやかなフリースペースですが、地域に少しずつ定着し始めています。

お仕事拝見



家事援助サービス

安藤 一二三さん(71歳)

当センターでは、全ての松山

市民を対象に、日常生活のお手伝いをする家事援助サービスの仕事を受けています。家庭内の掃除・洗濯・調理、散水や草引きなどの庭周りの作業のほか、空き家清掃、墓地清掃など家事援助サービスの内容は多岐にわたります。今回は、家事援助サービスの仕事に携わっておられる安藤さんにお話を伺いました。

「退職後、家で時間をもて余



▲掃除で心もスッキリ整いそう

している夫を見かねてセンターの入会説明会と一緒に参加したんです。その際にいろんな仕事や講習会があることを知って、夫だけでなく私も入会をしました」。

家事援助サービスの仕事に就いたのは5年前。自宅近くの個人所有の6階建てマンションの駐車場とマンション共用部の清掃の仕事です。当時、公園管理の仕事をしていたご主人の和夫さんと「二人で一緒にやってみませんか?」と、事務局から声がかかり、週1回の清掃業務を受けることにしました。

「仕事を引き受けたのはまず現場が自宅に近かったこと、外の清掃の仕事は人とあまり接触がなく、自分の気が済むように取り組めると思ったからです。駐車場は主に私が担当し、1時間ちよっと掃き掃除にあたります。その間、夫は6階建てマンションの共用部と外階段の清掃に当たり、駐車場が終わったら

私も手伝います」と安藤さん。息のあった共働の姿は、ご夫婦で助け合って1つの仕事をこなす好例といえそうです。

「清掃といっても毎回同じ状況ではなく、例えば季節や天候によって外廊下の汚れも異なるので、廊下わきの溝を拭き取ったり、共用部の乾拭きをするなどいろいろと工夫をするようになります」とは和夫さん。持ち前の几帳面さが清掃業務をこなすうえにも表れます。

家事援助サービスの仕事は利用者の必要によってそのサービス内容が異なります。安藤さんはこのマンション清掃の仕事のほかに家事援助の仕事を2件担当しています。利用者の都合で現在1件は休止中ですが、もう1件では週1回、夕食調理、買い物、洗濯物の片付け、風呂掃除などを行っています。

「シルバー会員3人で、ローテーションで共働き家庭の支援を行っています。いくら家事



▲取材では、ご夫婦の強い絆を感じました

経験があると言っても人様のご家庭に入って家事を担うというのは責任重大で、とまどうことばかり。でもやっているうちにレシピを調べたり、いろいろな工夫をするようになって、短時間でも喜んでもらえる調理もできるようになりました」と仕事を通じてのやりがいや学びを実感されています。

家事援助サービスは、利用者のお役に立つ大事な仕事。今後、後期高齢者が急増すると予測される中、高齢女性の潜在的な家事能力と豊かな適応力に期待が寄せられています。

ぶらぶら松山散歩

興居島



伊予鉄道高浜駅で下車する。伊予鉄道の三津駅、道後温泉駅、横河原駅などすべて改築されてしまったが、ここだけは映画で撮影された昔のままの駅舎が残っており見ごたえがある。だがいつ改築されるかわからず、今のうちに見ておいたほうが良いと思う。

駅前には興居島の泊と由良を結ぶ船が着く高浜港があり、泊港まで10分ほどの船旅を楽しんだ。フェリーはバリアフリーになっており、車椅子も楽に乗れるいい船だ。

泊港の目の前にある旧泊小学校の中に「しまのテーブルごしま」という日曜日のみ営業している店がある。今回は平日に訪れたため、学校の正門が閉まっており、中に入れなかったのだ、そのまま由良港までの3.4キロの旅を楽しむことにした。



▲泊公民館に建つ句碑

港近くにある松山市泊公民館には、泊地区の街の木である「モモ」が植樹されており、正岡子規の「鶏なくや 小富士の麓 桃の花」の句碑がある。そこから20分ほど歩くと、夏休みに1日1便だけ船が寄港する船越港に到着。近くには海水浴場があり、休憩できる広場整備もされており、きれいな海を眺めながら一休みすることにした。

港の前には、秋祭りで「船踊



▲秋祭りでの賑わいはなく、静かに訪れる人を迎えてくれる船越和気比賣神社

り」が行われる風格のある船越和気比賣神社があり、社殿の奥に古い絵がかかっている。少し歩くとニューヨークまで11280キロと刻まれた標識のようなものがあり、世界の主要都市までの距離も書かれていた。さらに歩くと、先ほどの神社の遷座跡に建つ碑を発見した。由良港の近くには無形文化財の興居島船踊りの碑などもあり、島にはさまざまな碑が点在して見所が多い。

由良港の前には、豊かな香りのする「Cotton John Coffee」というコーヒー屋がある。興居島を気に入った若夫婦が数年前に移住して始めたそう。注文してから豆を挽き、好みに合わせてコーヒーをたててくれる。



▲おいしいそうなお弁当と挽きたての香り高いコーヒーでランチ

今回は苦めのコーヒーを注文しただくことに。

コーヒー屋の奥には「べんとう美喜」という名の店がある。手作りの日替わり弁当が4種類並び、どれもおいしそうに迷ってしまった。弁当以外にも、仕出し料理もしているという。コーヒー屋の隣の広場にはテーブルセットが置かれていたので、そこで弁当とコーヒーを食すことにする。満足のいくランチを楽しむことができた。

潮風を類に感じながら、気分よく由良港から15分ほどの船旅で、移住者が多く住む興居島から高浜港へと戻った。

▲世界各国の主要都市までの距離が書かれた標識？



▲興居島の特産品が買えるという面白い自販機



人事異動

【内は旧所属又は職名】

【本部】

■昇任

▽大濱 聖丈

業務課業務係長【業務課業務係主任】

■配置換え

▽松友 省三

業務課長【業務課長兼業務係長】

▽宮本 伸吾

総務課長兼会員係長【総務課長】

▽井出本 和子

総務課総務係主任【企画課松山実施事務所主任】

▽内藤 弘子

総務課会員係【業務課業務係】

▽片岡 国江

総務課会員係【企画課企画係】

▽柴 浩美

業務課業務係【企画課企画係】

▽井上 昭男

企画課企画係【企画課生涯現役促進地域連携事業担当】

▽前田 臣輝

企画課企画係

■採用

▽佐藤 英一

企画課松山実施事務所

▽高田 敬士

企画課シニア相談ブース・高齢者就労相談窓口業務相談員

【北条支部】

■採用

▽杉野 順一

業務係

【福祉センター】

■兼務

▽尾崎 富士夫

福祉センター長兼北条福祉事務所所長兼北条支部長【事務局次長兼北条支部長】

【松山福祉事務所】

■昇任

▽篠原 かおり

居宅サービス係長【居宅サービス係主任】

■配置換え

▽古川 ミサ子

居宅サービス係【居宅サービス係長】

【北条福祉事務所】

■昇任

▽入山 尚子

通所介護係長【居宅介護支援係主任】

■採用

▽岩田 ひとみ

通所介護係

【退職／令和5年3月31日】

■本部

▽柳原 祐二【事務局長代理】

▽廣澤 弥希【企画課企画係】

▽角村 朱美【総務課総務係】

▽白石 実【企画課シニア相談ブース、高齢者就労相談窓口業務、生涯現役促進地域連携事業担当】

■北条支部

▽渡部 貞夫【業務係】

■福祉センター

▽堀内 一甲

【福祉センター長兼北条福祉事務所所長】

■松山福祉事務所

▽玉井 禎子

【生きがいデイサービス担当】

■北条福祉事務所

▽岩田 ひとみ

【通所介護係長】

■中島福祉事務所

▽青柳 富久栄

【離島生活基盤支援事業ミニデイ担当】

■三島 敬子

【離島生活基盤支援事業ミニデイ担当】

■離島生活基盤支援事業ミニデイ担当

▽三島 敬子

【離島生活基盤支援事業ミニデイ担当】

■編集委員

土居園江 梶原常晴

桑村啓三 赤尾真由美

編集後記

時は春、マスク着用の義務から解放され心弾むと言いたいところですが、心しぼむことが増えていきます。世界的に進む軍事化の様相や気候変動により多発する自然災害、犯罪の暴力化など個人の力では抗しがたい要因がその一因だったりします。

一方、足元を見れば諸物価の高騰で高齢者の就労意欲が高まっているとか。一見「高齢者が活躍する社会」を連想しがちですが、その就労の実態は必ずしも高齢者が望む姿からは遠く、心身の老化の不安と背中合わせ。そろそろ高齢者自身が我が身の状況と相談して、どのように働くか、どうやって生きがいにつながる仕事のしかたをするか、考える時期を迎えている気がします。(D)

【編集委員】

土居園江 梶原常晴

桑村啓三 赤尾真由美

